

南青葉だより 陽だまり

第21号 発行日：2024年5月1日 発行：南青葉台自治会 事務局

令和6年度がスタートしました

南青葉台自治会員の皆様、令和6年度の会長を務めさせていただきます播磨です。

4年前に会長を退任する間にパンデミックが勃発し、自治会活動も困難を極めたようですが、その間に組織の改革やデジタル化による自治会運営の効率化、ホームページの立ち上げで情報発信が進んでいました。

これからの2年間、私が心がけて参りたいことは、

1. 自治会員の皆様が安心して楽しく過ごせる住み良い街づくり
2. 若い世帯の移住先に選ばれる街づくり
3. 地域の皆様の心がかよいあう街づくり

と、考えております。

そのために、引き続き『ひだまりテラス』を開催して世代間交流を促進したり、誰もデジタル化から取り残さないを目指して『スマホ講座』の開催や子ども行事を活発に行なったりするなど、役員、事務局、委員一丸となって街づくりに取り組んで参りますので、会員の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

自治会長 播磨清



地域のお困りごと相談など

内 容	担 当 役 員	窓 口
入退会 (転入・転出の手続き)	玉崎事務局長	班長
防犯灯関連 (防犯灯切れ等)	西尾防犯委員長	防犯委員・班長
会館の利用申込 (会館の利用予約)	篠原会館委員長	瀬戸副委員長
駐車場の一時貸出 (法事・リフォーム等)		吉田副委員長
ごみネットの交換 (ネットの破損)	小倉環境衛生委員長	環境衛生委員
廃品回収は第3木曜日 自治会活動資金へのご協力をお願いします		

南青葉台にピカピカの一年生8名誕生！

暖かな4月5日、河内長野市では令和6年度の入学式が行われ、地元石仏小学校でも29名、その内南青葉台からも8名の新1年生が入学しました。

校門脇の満開の桜に迎えられ、保護者と一緒に嬉しそうに校門をくぐって行く姿は誰の目にも微笑ましく写りました。

入学式で一人一人の名前が読み上げられ元気よく「はい」と返事をして手を挙げて起立、大きな声のお子さんや緊張から小さな声しか出ないお子さんもいて、とても微笑ましい式典でした。

新1年生のお宅の大半は、ここ数年に南青葉台に転入された方々で、入学のお祝いをお届けに訪問してお話を伺うと、南青葉台の住み心地は、「静かでまわりの人達が優しく親切」、「見守り隊のおかげで安心して通学させられる」、「月曜日から弟と一緒に学校に行くのが楽しみ」などのコメントを頂きました。

南青葉台に住む全員で成長を見守りましょう。



自治会の活動状況と予定

*3月実績

3月 3日	環境衛生委員会
3月10日	定例役員会
3月10日	スマホ講座
3月10日	デジタル委員会
3月16日	会館委員会
3月16日	防犯委員会
3月17日	花の文化園ウォーキング (福祉委員会)
3月17日	広報委員会
3月21日	廃品回収日
3月30日	4組織連絡会

*4月実績&予定

4月13日	福祉委員会総会
4月14日	定例役員会
4月14日	むつみ会総会
4月14日	青少年育成会総会
4月18日	廃品回収日
4月21日	自治会総会
4月28日	防災委員会総会

*5月予定

5月12日	定例役員会
5月16日	廃品回収日
6月 9日	定例役員会
6月20日	廃品回収日

編集後記

防災アドバイザーさんの消防援助隊員としての臨場感あふれる講演や本誌の記事から、自分も何か備えをしなければならないと、改めて思いました。最近、河内長野市から送られてきた災害ハザードマップの土砂災害特別警戒区域や、1次・2次持ち出し品、マスコミなどから発信される避難所での過ごし方や心がけなど、いろいろな情報を集めて、災害への備えをしておこうと思います。

災害は忘れたころに…

南青葉台防災委員会 防災アドバイザー

福田 峰士 (消防士)

令和6年1月1日16時10分、石川県鳳珠群穴水町の北東42kmを震源とするM7.6の地震が発生しました。輪島市、羽咋郡志賀町では最大震度は7を観測。地震が発生したときみなさんは何をされておりましたか？まさか、元旦に大規模な地震が発生するとは思ってもよらなかったのではないのでしょうか？

しかしながら、災害は忘れたころにやって来ます。普段からの備えを怠ることなくいつ災害が起こっても対応できるようにしておきましょう。

私は約10日間石川県輪島市で緊急消防援助隊として活動してきました。被災地で生活し改めて備蓄の大切さを実感しました。

まず、みなさんは水を備蓄されていますか？そんなん当たり前や！備蓄してる！という方は大勢おられるかと思えます。では、飲料水以外の水を備蓄されている方はおられますか？水道管等の破損に伴い、水が出ない被災地では水はとても貴重です。飲料水以外の水の備蓄がなければ、ちょっと手を洗いたいときにも大切な飲料水を使用しなければなりません。



雨水を溜めるタンク

飲料水以外の水の備蓄も検討しましょう。

トイレの問題も重要です。備蓄の中に災害用簡易トイレを加えて平時に使う練習をしてみましょう。



初期の避難所では体育館等で雑魚寝となりプライバシーを確保するのは難しくなります。また、南青葉台にはペットを飼われている方が多くおられると思いますが、避難所には動物が苦手な方や、アレルギーを持っている方も避難されてきます。このような場合避難所内に動物を連れて入ることは難しくなります。車中泊やテント等を活用してプライバシーの確保やペットと共に避難する方法を考えてみてください。

最後に…大規模な地震が発生すれば消防隊はすぐに助けに来てくれません。近隣の消防本部からの応援はありません。緊急消防援助隊の到着には時間を要します。実際、大阪の緊急消防援助隊の本隊が輪島市に到着したのは3日の22時頃でした。自分を守る「自助」と地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」がとても重要となってきます。公助だけに頼らず地域の「自助力」を高めていきましょう。



南青葉台防災委員会 委員長就任にあたって

南青葉台防災委員会 委員長 大給龍夫

この度、南青葉台防災委員会の委員長を引き受けることになりました。今までと同様、皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

南青葉台防災委員会は平成24年に発足しました。その目的は地域住民が協力し、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という災害に強い街をつくることです。近年、数多く地震が発生しています。今年の1月にも震度7の能登地震が起こりました。皆さまもご存知のように30年以内に南海トラフ巨大地震が70～80%の確率で発生するとされており、防災は自助、共助、公助、が基本と言われていますが、大きな地震が発生すれば公助には限界があり望めません。地域の皆さんで助け合わなければなりません。近所にいる人が頼りになります。自助、共助を徹底することが最重要だと思っております。これからも防災啓発活動に努力して参りますので皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

「南青葉台健康講座」第4回目を開きました

2月24日健康講座が開催されました。介護の事についていろいろ教えて欲しいとの会員からの声もあり、南青葉台の入り口近くにある地域密着型介護老人福祉施設寿里苑フルールより介護支援専門主任の佐野氏を講師にお招きして、介護保険や利用方法等サービスの内容を、私たちが知りたいと思う初めの一歩からお話をして頂きました。奥は深いので難しいことはいくらかでもありますが、分かりやすく日頃の実体験も交えてお話して下さいました。

具体的には

- ① 介護保険を利用するには「介護保険証」が必要。相談窓口、介護認定の流れ、また軽度の方ならチェックを受けヘルパーやデイサービスが利用可。急に倒れた時は介助が先で後から認定。
- ② 介護サービスにはどんなものがあるか。
 - ・ 訪問してくれる（買い物・掃除・風呂・トイレ介助等）
 - ・ 私達から施設に行く（入浴・リハビリ等）認知症のデイサービスもある。どのデイサービスも施設の体験利用ができる。用具のレンタル（年間10万円上限）、住宅改修（手すりや段差解消、20万円上限で超えた部分は自責）。
- ③ 高齢者が利用できる保険を使わないサービス（自責）・配食（市が作っている）
 - ・ 個別ゴミ（要介護2以上）・燃えるごみシール追加（おむつ型）・見守りセンサー・認知症の徘徊SOS。途中、寿里苑運動トレーナーのビデオ体操を皆で実践、最後には質問コーナーもあり、皆さんの不安が少し解消されたようでした。

参加された皆様からは、参考になった、参加して良かったとの声をお聞きでき、たいへんうれしく思いました。皆様ありがとうございました。

毎回喜んでいただきました令和5年度活動計画の健康講座は、今回ですべて終了いたしました。

